

飯能市地域公共交通網形成計画

令和2年度 事業報告

令和3年6月

飯能市地域公共交通対策協議会
(事務局：飯能市市民生活部生活安全課交通政策室)

飯能市地域公共交通網形成計画の取組一覧

基本目標	施策	施策名	実績			今後の方向性			
			未実施	研究・検討	実施	継続実施	継続検討	見直し	廃止
基本目標1 地域の幹線交通としての路線バスを「まもる」	施策1：バス路線の維持と継続的な見直し	① 交通事業者との連携強化			○	●			
		② 補助金の継続			○	●			
		③ 利用実績のモニタリングによるバス路線の見直し			○	●			
	施策2：観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施	① 観光施策と連携した利用促進			○	●			
		② 市内コンテンツを活用した利用促進			○	●			
		③ おでかけ促進と連携した利用促進			○	●			
	施策3：バス運行環境の整備	① バス停の待合環境の改善			○	●			
		② 施設を活用した待合環境の整備		○			●		
		③ 飯能駅北口ロータリー周辺の使い方			○	●			
		④ 市内道路網の課題解決に向けた取組の実施			○	●			
	施策4：需要に対応したバス路線の見直し	① 施設立地等に対応したバス路線の見直し			○	●			
	基本目標2 路線バスを身近にして公共交通を「育てる」	施策1：バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進	① わかりやすいバス案内看板の設置			○	●		
			② バスマップの作成・配布			○	●		
施策2：市民・地元企業を巻き込んだモビリティマネジメントの実施		① まちなかのおでかけに対するモビリティマネジメント			○	●			
		② 通勤・通学者等に対するモビリティマネジメント			○	●			
施策3：マイバス意識の醸成		① バスを使ってもらう取組			○	●			
		② バスのことを理解してもらう取組			○	●			
		③ 地域におけるマイバス意識の醸成			○	●			
施策4：公共交通利用のための利便性の向上	① 乗換利便性の向上		○			●			
	② 高等学校等バス通学費補助			○	●				
	③ 利便性向上のための設備投資			○	●				
基本目標3 生活を支える公共交通手段を「つくる」	施策1：「おでかけ」を守るための検討	① 飯能市地域公共交通対策協議会の運営			○	●			
		② 地域での交通手段を導入するための仕組みづくり			○	●			
		③ 地域による主体的な運営組織づくり			○	●			
	施策2：社会資源の活用検討	① スクールバスの混乗		○		●			
		② 送迎バスの活用検討			○	●			

基本目標1 地域の幹線交通としての路線バスを「まもる」


施策	1	バス路線の維持と継続的な見直し			
施策名	①	交通事業者との連携強化			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
	H30	R01	R02	R03	R04
市、交通事業者	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
<p>○バス事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> 市と国際興業(株)の協定に基づく飯能営業所存続に関する協議をはじめ市内路線の維持確保のための意見交換を行った。 西武バス(株)による自動運転実証実験等を通して、同社と美杉台路線をはじめとする市内路線についての意見交換を行った。 その他、市内バス事業者と市では地域公共交通対策協議会分科会等を通して情報共有、意見交換を行っている。 <p>○鉄道事業者、タクシー事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> JR東日本、西武鉄道(株)について、各協議会等を通しての要望活動及びダイヤ改正による打ち合わせの場等を活用して情報共有、意見交換を行っている。 市内タクシー事業者について、新型コロナウイルス感染症対策の支援金を通して情報共有を行っている。 					
今後の課題					実績
<p>○市内路線の維持、確保のため補助金を交付している国際興業(株)と市では今後も連絡を密にし、各路線の利用状況等について情報共有する。</p> <p>○西武バス(株)とは自動運転実証実験を実施した美杉台路線をはじめ市内路線の維持等に関して引き続き情報交換を行う。</p> <p>○各交通事業者と市においては、今後、新しいモビリティサービスの導入を含めて引き続き情報共有、意見交換を行っていく。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	1	バス路線の維持と継続的な見直し																					
施策名	②	補助金の継続																					
実施主体	実施期間（H30～R04）																						
	H30	R01	R02	R03	R04																		
市	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	○継続実施																		
R02実績																							
<p>○地域乗合バス路線対策費補助金交付要綱に基づき、国際興業バス4路線に対して補助金を交付した。補助金交付により、山間地域の住民の通勤、通学をはじめ、高齢者等の通院、買い物等の移動の足を確保している。当該路線は、地域住民のおでかけの足としてだけでなく、ハイカー等の観光客の足としてもなくてはならないものである。</p> <p>・補助対象路線 湯の沢線 名栗車庫線 間野黒指線 中沢線</p> <p>●新型コロナウイルス感染症関連 支援金等交付 ※詳細は別紙</p> <p>国の地方創生臨時交付金を活用し（⑤を除く）、市内交通事業者に対して以下のとおり支援金等を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>対象</th> <th>支援総額（実績額）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①飯能市公共交通対策臨時支援金</td> <td>・路線バス事業者、タクシー事業者</td> <td>・431万円</td> </tr> <tr> <td>②飯能市路線バス混雑緩和対策補助金</td> <td>・路線バス事業者</td> <td>・697万円</td> </tr> <tr> <td>③飯能市公共交通安心運行支援金</td> <td>・路線バス事業者、タクシー事業者</td> <td>・494万円</td> </tr> <tr> <td>④飯能市地域公共交通事業者支援金</td> <td>・路線バス事業者（国際興業(株)除く）、タクシー事業者</td> <td>・379万円</td> </tr> <tr> <td>⑤飯能市地域幹線交通維持確保支援金</td> <td>・路線バス事業者（国際興業(株)）</td> <td>・3,000万円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	対象	支援総額（実績額）	①飯能市公共交通対策臨時支援金	・路線バス事業者、タクシー事業者	・431万円	②飯能市路線バス混雑緩和対策補助金	・路線バス事業者	・697万円	③飯能市公共交通安心運行支援金	・路線バス事業者、タクシー事業者	・494万円	④飯能市地域公共交通事業者支援金	・路線バス事業者（国際興業(株)除く）、タクシー事業者	・379万円	⑤飯能市地域幹線交通維持確保支援金	・路線バス事業者（国際興業(株)）	・3,000万円
事業名	対象	支援総額（実績額）																					
①飯能市公共交通対策臨時支援金	・路線バス事業者、タクシー事業者	・431万円																					
②飯能市路線バス混雑緩和対策補助金	・路線バス事業者	・697万円																					
③飯能市公共交通安心運行支援金	・路線バス事業者、タクシー事業者	・494万円																					
④飯能市地域公共交通事業者支援金	・路線バス事業者（国際興業(株)除く）、タクシー事業者	・379万円																					
⑤飯能市地域幹線交通維持確保支援金	・路線バス事業者（国際興業(株)）	・3,000万円																					
今後の課題					実績																		
<p>○路線バスが基幹公共交通となっている地区を運行する路線バスについては、住民の移動手段としてだけでなく、市街地から山間地域の観光拠点等をつなぐ移動手段としての役割を果たしており、今後も補助金を継続し、維持確保していく必要がある。</p> <p>○補助金を交付してもなお維持が難しい路線については、利用者数の推移、沿線地域の状況等を十分に把握した上で、代替案の検討をあわせて進めていく。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策のための国の支援状況を考慮しつつ、引き続き市においても市内交通事業者に対する支援等を検討する。</p>					実施																		
					今後の方向性																		
					継続実施																		

施策	1	バス路線の維持と継続的な見直し			
施策名	③	利用実績のモニタリングによるバス路線の見直し			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
	H30	R01	R02	R03	R04
市、交通事業者	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
<p>○国際興業バスの支線に利用状況の分析 以下の路線について、国際興業(株)からの乗降データ及び市担当者による乗込調査の結果を分析し、今後の当該路線の再編のあり方について検討を開始した。 国際興業バス 中藤・中沢線 間野黒指線</p> <p>○国際興業バス「飯能ワンコインゾーン」の廃止 平成26年度に実施して以降、市からの延長要望により継続していた当制度の実証実験について、新型コロナウイルス感染症の影響や当制度の輸送実績等を鑑みて、令和3年3月31日をもって終了した。</p>					
今後の課題					実績
○市内路線の中で支線と位置付けられている国際興業バス間野黒指線、中藤・中沢線、名栗本線(上名栗地内)について、分析結果を基に市と国際興業(株)が協議して再編案を作成し、地域住民とともに路線の再編等について検討を進めていく。					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	2	観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施			
施策名	①	観光施策と連携した利用促進			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
	H30	R01	R02	R03	R04
市、地域、交通事業者	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
<p>観光施策と連携したバス・鉄道の利用促進を以下のとおり実施した。</p> <p>○「わくわくNAGURI通信(第9号)」の発行 ○各エコツアーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布 国際興業バス車内に吊り下げほか ・内容 バス停付近の名所(石仏特集)の紹介 ・開催回数 19回 ※路線バスの利用につながるツアー ・参加人数 100名 ※19回の合計人数 ・主な事業 写経と精進料理&茶道体験(@正覚寺) 古民家 de 苔テラリウム in 名栗・湯の沢ベース <p>●新型コロナウイルス感染症対策関連</p> <p>○はんのう応援連携事業「森と湖と花火と。」 新型コロナウイルスにより停滞している景気等からの脱却を目指し、飯能市民や市内事業者を応援するために実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 10/17、10/24、11/7 ・会場 メッツァピレッジ ・参加人数 1,626名(3日間合計) ・主催 はんのう応援連携事業実行委員会 <p>○以下の事業については、中止(実施見送り)となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お散歩マーケット(春・夏) ・「わくわく名栗クラブ」による川遊びイベント ・「路線バス途中下車の旅の会」による利用促進事業 ・「原市場地区公共交通を守る会」による利用促進事業 ・その他名栗地区への路線バス利用促進となる事業(なぐり見聞食ブラさんぽ、名郷味市、ノーラ名栗によるイベント等) 					
今後の課題					実績
○各地区において、地域住民が主体となって利用促進事業を実施している。					実施
○今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施されている事業、イベントの多くが中止となった。					今後の方向性
○今後、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、市内の観光スポットでのイベント等をはじめ観光施策と連携した公共交通の利用促進事業を検討していく。					継続実施



施策	2	観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施				
施策名	②	市内コンテンツを活用した利用促進				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
交通事業者、 地域、市	H30	R01	R02	R03	R04	
	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施		
R02実績						
<p>○飯能市観光MaaSのモバイルチケット「Meets! Hanno Pass」の販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称 「Meets! Hanno Pass」 ・価格 大人(中学生以上) 2,600円 子ども 1,480円(6歳以上小学生以下) ・期間 令和2年9月14日~令和3年1月11日 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ▶ムーミンバレーパーク入園チケット ▶シャトルバス往復乗車券 ▶市内のお店で優待が受けられるクーポン券 ・販売数 218枚 ・主催 ㈱ムーミン物語、西武バス㈱、国際興業㈱、イーグルバス㈱、ジョルダン㈱ ・協力 飯能市 						
今後の課題					実績	
○メッツァ、食のテーマパーク「OH!!!」、フーラ名栗(R3.4.29グランドオープン)など市内の観光施設利用とあわせた公共交通利用を促進するため、引き続きMaaSを含めた企画等を検討していく。					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	2	観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施				
施策名	③	おでかけ促進と連携した利用促進				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
地域、市、 交通事業者	H30	R01	R02	R03	R04	
	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施		
R02実績						
<p>市内の一部公共施設では、施設の最寄りの停留所の時刻表を施設内に掲示すること、施設案内冊子にバスの案内を掲載することにより利用者に対して路線バスでの来所方法を案内している。また、イベント等の周知記事に開始時間に間に合う路線バスの案内を掲載することにより、地域を運行する路線バスの利用促進を行っている。</p>						
今後の課題					実績	
○今後も公共交通を利用できる位置にある公共施設、商業施設等の協力により、地域の行事や地域内での買い物に路線バス等の公共交通を利用してもらえるように取組を継続し、研究を進めていく。					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	3	バス運行環境の整備				
施策名	①	バス停待合環境の改善				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
地域、市、 交通事業者	H30	R01	R02	R03	R04	
	○研究・検討	○検討	◎実施	○継続実施		
R02実績						
<p>○「ノーラ名栗・さわらびの湯」停留所の待合所整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーラ名栗のオープンにあわせて、西川材の「はしらベンチ」を活用し、「ノーラ名栗・さわらびの湯」停留所の待合所の整備を行った。 <p>○国際興業バスの「危険バス停」の現地確認と対策検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際興業㈱、飯能警察署及び市において、国交省から指定された、いわゆる「危険バス停」64か所（Aランク～Cランク）について現地確認と対策検討を行った。 			 <p>△「ノーラ名栗・さわらびの湯」停留所</p>			
今後の課題					実績	
<p>○今後も主要なバス停において、快適に利用できるよう環境整備を検討していく。</p> <p>○市内の「危険バス停」については、今後も国際興業㈱、飯能警察署及び市の3者で連携し、停留所ごとに対策を検討することを予定している。</p>					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	3	バス運行環境の整備				
施策名	②	施設を活用した待合環境の整備				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
市、地域、 交通事業者	H30	R01	R02	R03	R04	
	○検討	○検討	○検討	○継続検討		
R02実績						
○乗降者数の多いバス停、交通結節点となりうるバス停等から対象箇所の検討を行っている。						
今後の課題					実績	
○今後も、市内の路線バスの利用状況を鑑みながら、網形成計画に基づき、「軸となる路線」と「支線となる路線」の結節点を見極めて対象箇所の選定を行っていく。					検討	
					今後の方向性	
					継続検討	

施策	3	バス運行環境の整備				
施策名	③	飯能駅北口ロータリー周辺の使い方の改善				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
	H30	R01	R02	R03	R04	
交通事業者、市	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施		
R02実績						
<p>○本市を訪れた観光客が路線バスに容易に乗り継ぎ、目的地に向かうことができるよう、飯能駅北口ロータリー内に観光スポットと最寄りバス停、バスのりばを掲載したバス案内看板についてメンテナンスを実施した。</p> <p>○利用者からの要望を受け、飯能駅北口ロータリー内へのベンチの増設について、市と西武鉄道㈱で検討を行った。</p>						
今後の課題					実績	
<p>○メッツァ乗場者やハイカーにより、飯能駅北口ロータリーは時期によってバス利用者等で混雑することがある。引き続き観光客の推移を注視しながら、利用者（及び通行者）が快適にバス及び駅構内を利用できる環境を確保する必要がある。</p> <p>○飯能駅北口ロータリーについては、ロータリー内の通路の狭さなどの課題もあり、増設が難しい状況となっている。今後も安全面を考慮した上で、引き続き関係機関と調整する。</p>					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	3	バス運行環境の整備				
施策名	④	市内道路網の課題解決に向けた取組の実施				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
	H30	R01	R02	R03	R04	
市	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施		
R02実績						
<p>○国際興業バス「尾長入口」バス停のバス停車帯、「名郷」バス停の転回場について、国際興業㈱からの要望に基づき、市において舗装工事を実施した。これにより、バス車内及び待合所にいるバス利用者の安全性が向上した。</p> <p>○都市計画道路阿須小久保線と市道1-5号線との交差点工事に向けて用地交渉中である。また、岩沢地内の阿須小久保線において跨線橋工事を開始した。</p>						
						
		△「尾長入口」バス停付近		△「名郷」バス停付近		
今後の課題					実績	
<p>○一連の整備工事完成後のメッツァとトーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園の相互アクセス利便性の向上のための公共交通施策について、交通事業者等と協議していく。</p>					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	4	需要に対応したバス路線の見直し				
施策名	①	施設立地等に対応したバス路線の見直し				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
	H30	R01	R02	R03	R04	
交通事業者、市	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施		
R02実績						
<p>○国際興業バス「OH!!!・天覧山下」バス停車帯設置（上り線） 昨年度、当該停留所の下り線のバス停車帯整備を行ったが、今年度は、当該停留所の上り線について整備を行った。当該地域は、天覧山、能仁寺、食のテーマパーク「OH!!!」などが立地する観光拠点であり、バス利用者の利便性の向上が期待できる。</p> <p>○国際興業バス停留所の名称変更 停留所周辺の観光施設のオープンに伴い、以下のとおり停留所の名称変更を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さわらびの湯」 → 「ノーラ名栗・さわらびの湯」 ※市の要望に基づく変更 ・「天覧山下」 → 「OH!!!・天覧山下」 ※㈱ピクルスコーポレーションからの要望に基づく変更 <p>○国際興業バス間野黒指線の大河原工業団地経由便（飯11-2）の廃止 平成30年5月に飯能大河原工業団地への路線延長を実施したが、当該系統の輸送実績や新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少等から令和3年3月31日をもって廃止した。</p>						
今後の課題				実績		
<p>○メッツァ行直通シャトルバスについて、運行事業者3社の協力のもと円滑な運行が続けられているが、新型コロナウイルス感染症の影響により東飯能駅発着便（m02系統）は運休が続いている。また、メッツァ駐車場無料開放の実施に伴うバス利用者の減少もあり、今後も利用状況の推移を見守る必要がある。</p>				実施		
				今後の方向性		
				継続実施		



△「OH!!!・天覧山下」上り停留所

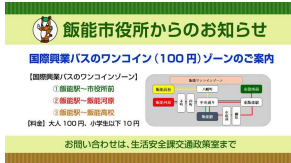






△停留所表示

基本目標2 路線バスを身近にして公共交通を「育てる」


施策	1	バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進			
施策名	①	わかりやすいバス案内看板の設置			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
	H30	R01	R02	R03	R04
市、交通事業者	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	○継続実施
R02実績					
<p>○「飯能市バス観光案内」のメンテナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たにオープンした「OH!!!」、「ノーラ名栗」の表記についてメンテナンスを行った。 ・「OH!!!・天覧山下」の停留所名称変更について対応した。 					
 <p style="text-align: center;">△停留所名称変更の対応</p>					
今後の課題					実績
<p>○「ノーラ名栗・さわらびの湯」の停留所名称変更、飯11-2系統廃止については未対応であるため、対応の必要がある。</p> <p>○看板盤面のメンテナンスについて、市及び交通事業者で行っていく。特に今後再編を検討する路線について、経路変更等が生じた場合は編集し直す必要がある。また、看板の裏面の活用方法について検討する。</p> <p>○東飯能駅にはバスの案内等が不十分であるため、バス案内看板等の設置も視野に検討を行う。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	1	バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進			
施策名	②	バスマップの作成・配布			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
	H30	R01	R02	R03	R04
市	◎実施 (改訂・増刷)	◎実施 (増刷)	◎実施	○継続実施	○継続実施
R02実績					
<p>「飯能市バスルートマップ」(H27.4作成、H30一部改訂)について市内の公共施設等で市民に広く配布した。</p>					
 <p style="text-align: center;">△メツァ紹介欄 △地図図面</p>					
今後の課題					実績
<p>○公共交通を使ってもらいやすくなるよう、市内の公共施設、商業施設等を通して市民及び観光客等の来訪者に引き続き配布していく。また、警察署と連携し、運転免許返納者に対して配布できるよう進めていく。</p> <p>○飯能市乗合ワゴンの新設をはじめ市内路線の再編及び観光施設の更新が必要な状況であるため、今後、紙面の改訂を行う。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	2	市民・地元企業等を巻き込んだモビリティマネジメントの実施			
施策名	①	まちなかのおでかけに対するモビリティマネジメント			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
	H30	R01	R02	R03	R04
交通事業者、市	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
<p>○市広報、市HP、庁内デジタルサイネージで交通事業者による以下の既存の各種サービスについてPRし、主に高齢者の公共交通の利用による外出の促進を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際興業バス「彩京のびのびパス」 65歳以上対象、同社の路線バス乗り放題（6か月間、税込22,000円） 国際興業バス「飯能ワンコインゾーン」 飯能駅から一定区間100円（小児10円）で乗車できる制度 					
					
					
				<p>△「飯能ワンコインゾーン」周知</p>	
今後の課題					
<p>○市内の公共交通の現状、各施策、サービス等について、公共交通ニュース等を通して周知を行っている。 ○市内の商業施設、集客施設との連携を強化し、外出を促進するための公共交通活用方策を検討する。</p>					
実績					
実施					
今後の方向性					
継続実施					

施策	2	市民・地元企業等を巻き込んだモビリティマネジメントの実施			
施策名	②	通勤・通学者等に対するモビリティマネジメント			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
	H30	R01	R02	R03	R04
市、地域、交通事業者	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
<p>○「2020はんのう・ひだかノーマイカーデー」の実施 バス路線、鉄道路線が乗り合わせている飯能市及び日高市において、公共交通を維持・確保するため、また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により大きな影響を受けた公共交通事業者を支援するために実施した。 ※「埼玉県地域公共交通活性化促進事業補助金」を活用</p>					
<ul style="list-style-type: none"> 期間 12月1日～12月31日（1か月間） 参加者数 907人 （内訳）飯能市 628人 日高市 279人 参加事業所 29事業所 （内訳）飯能市 13事業所 日高市 16事業所 <p>期間後、参加者に対するアンケート（QRコードを活用したWEB回答）により、結果検証を行った。</p>					
					
					
					
				<p>△参加証（表・裏）</p>	
今後の課題					
<p>○ノーマイカーデーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も市内事業所に協力を仰ぎながら引き続き実施する。 ダイヤプラン公共交通部会において、構成5市による共同開催について研究、検討を進める。 <p>○市内高等学校等の生徒に対するモビリティマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学等で利用できるバスを紹介する内容での利用啓発を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響による休校等により、実施を見送っている。 					
実績					
実施					
今後の方向性					
継続実施					

施策	3	マイバス意識の醸成			
施策名	①	バスを使ってもらう取組			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
市、地域、 交通事業者	H30	R01	R02	R03	R04
	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
<p>○路線バス車内における観光PR動画放映</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際興業㈱の協力により、市内の路線バス車内OBC画面で沿線の観光PR動画を放映している。  <p>●新型コロナウイルス感染症関連 実施見送り</p> <ul style="list-style-type: none"> 名栗ひなかざりきっぷ <p>「飯能ひな飾り展」の中止に伴い、昨年度、国際興業㈱、（一社）奥むさし飯能観光協会、市が連携して販売した当該企画乗車券についても企画・販売を見送った。</p>					
今後の課題					実績
<p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は企画乗車券等の企画・販売ができなかった。今後は感染症の収束を見極めながら、事例等を研究し、関係機関と協力しながら企画を検討していく。</p> <p>○路線バス車内における動画放映は国際興業㈱の協力により、引き続き実施する。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	3	マイバス意識の醸成			
施策名	②	バスのことを理解してもらう取組			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
市、交通事業者、 地域	H30	R01	R02	R03	R04
	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
<p>●新型コロナウイルス感染症関連 中止、実施見送り</p> <p>以下の事業（イベント）については、開催中止（見送り）した。</p> <ul style="list-style-type: none"> はんのう生活祭 …例年、国際興業㈱と連携し、「バスの乗り方教室」等を実施している。 ノリノリ！のりものフェスティバル …ダイアプラン構成市により、H30から実施している。 出前講座 …例年、依頼により適宜実施しているが、依頼がなかった。 <p>●新型コロナウイルス感染症関連 感染予防周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際興業バス車内での感染予防PR開始 <p>国際興業バス車内のOBC画面を活用し、飯能市の観光PR動画を放映していたが、当該画面に新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、「バス事業者による取組」と「乗客への協力」についての内容を追加し、放映した。</p>  <ul style="list-style-type: none"> 広報はんのう9/1号による情報発信 <p>路線バス事業者による感染予防の取組と乗客へのお願いについて記事掲載した。</p>					
今後の課題					実績
<p>○新型コロナウイルス感染症の収束を見極めつつ、各事業の開催の可否を検討していく。</p> <p>○市民の路線バス利用が進まない要因の一つとして、「バスの乗り方がよく分からない」という問題が挙げられる。今後も「乗り方教室」をバス事業者の協力のもとで開催し、バス利用を身近なものにしていく。また、市内で増加している外国人在住者に対する利用促進についても検討していく。</p> <p>○公共交通の利用促進を目的とした広域的な啓発事業について、ダイアプラン公共交通部会において引き続き実施を検討する。</p> <p>○市民、団体等の要請に応じて出前講座等を通して市の公共交通の現状等について理解を促していく。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	3	マイバス意識の醸成			
施策名	③	地域におけるマイバス意識の醸成			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
地域、市	H30	R01	R02	R03	R04
	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
○「わくわく名栗クラブ」の会議出席 同会の全体会及び部会に出席し、公共交通の現状等について情報共有をした。					
今後の課題					実績
○「公共交通は地域の資源であり、自ら乗り、育てていく」という意識を醸成するため、今後も特に名栗本線沿線の住民に対して意識啓発を行い、地域住民との意見交換を実施していく。					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	4	公共交通利用のための利便性の向上			
施策名	①	乗継利便性の向上			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
市、地域、 交通事業者	H30	R01	R02	R03	R04
	○研究・検討	○研究・検討	○研究・検討	○継続検討	
R02実績					
○サイクル・アンド・バスライドの視点から、国際興業バス「新寺」バス停付近の自転車置き場の管理を継続して行った。					
					
△新寺自転車置き場					
今後の課題					実績
○各バス停の状況を把握し、パーク・アンド・ライドの必要箇所の状況やその実施方法等について引き続き研究、検討を進める。					研究・検討
○駐輪場の整備を実施した「新寺」以外の停留所についても、サイクル・アンド・バスライドができる環境整備が必要との要望があるため、地域からのニーズ等を踏まえた上で検討を進める。					今後の方向性
					継続検討

施策	4	公共交通利用のための利便性の向上			
施策名	②	高等学校等バス通学費補助			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
	H30	R01	R02	R03	R04
市	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
<p>○以下のとおり、高等学校等の生徒の高額な通学定期券の購入費に対する補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 通学費に係る経済的な負担の軽減及び路線バスの利用促進を図る。 ・対象者 高等学校、私立中学校、特別支援学校、中等教育学校、高等専門学校、専修学校に通学する生徒の保護者であり、生徒の通学費として年間10万円以上の経費を必要とする者 ・令和2年度補助件数 48件 <p>※令和元年度補助件数 79件</p>					
今後の課題					実績
<p>○山間地域に在住する高校生の高額な通学定期券の購入費用については、高校生が安心して地域で生活しながら高校に通うことができるよう、引き続き補助金を交付する。</p> <p>○補助金交付対象となっている山間地域に住む高校生の数が大幅に減少している中で、令和元年度に実施したアンケート結果を参考に必要な対策を研究、検討していく。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	4	公共交通利用のための利便性の向上																											
施策名	③	利便性向上のための設備投資																											
実施主体	実施期間（H30～R04）																												
	H30	R01	R02	R03	R04																								
市、交通事業者	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施																									
R02実績																													
<p>○西武バス美杉台路線における自動運転実証実験の実施 遠隔監視システムを活用した自動運転大型バスによる実証実験を行った。路線バスの大型車両を使用した既存路線での自動運転の実証実験は国内初の事例。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所 飯能駅南口～美杉台ニュータウン（西武バス飯能営業所）片道約2.5km ・運行日 2/23～3/7 延べ7日間 ・運行時間 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">平日</th> <th colspan="2">日曜祝日</th> </tr> <tr> <th>美杉台NT発</th> <th>飯能駅南口発</th> <th>美杉台NT発</th> <th>飯能駅南口発</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:24</td> <td>10:00</td> <td>9:26</td> <td>10:00</td> </tr> <tr> <td>10:48</td> <td>11:24</td> <td>11:00</td> <td>11:38</td> </tr> <tr> <td>13:36</td> <td>14:24</td> <td>14:00</td> <td>14:38</td> </tr> <tr> <td>15:10</td> <td>15:48</td> <td>15:20</td> <td>16:00</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・乗車人数 838名 ・実施主体 西武バス、群馬大学 ほか 						平日		日曜祝日		美杉台NT発	飯能駅南口発	美杉台NT発	飯能駅南口発	9:24	10:00	9:26	10:00	10:48	11:24	11:00	11:38	13:36	14:24	14:00	14:38	15:10	15:48	15:20	16:00
平日		日曜祝日																											
美杉台NT発	飯能駅南口発	美杉台NT発	飯能駅南口発																										
9:24	10:00	9:26	10:00																										
10:48	11:24	11:00	11:38																										
13:36	14:24	14:00	14:38																										
15:10	15:48	15:20	16:00																										
					 <p>△運行車両</p>																								
					 <p>△実証実験の様子</p>																								
					 <p>△運転中の様子</p>																								
<p>○「バスまちスポット」「まち愛スポット」の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のバスまちスポット、まち愛スポットについて施設の移設等による修正、見直しを行った。 																													
今後の課題					実績																								
<p>○自動運転を含めた新しいモビリティサービスの導入について、事業者等とともに継続的に研究を行う。</p> <p>○市内の「バスまちスポット」、「まち愛スポット」の新規設置について候補場所の検討を行う。</p> <p>○鉄道駅のバリアフリー化について、市内の駅ホーム内方線付き点状ブロック整備対象の駅（飯能駅、JR・東飯能駅、西武・東飯能駅、元加治駅）は全て整備済となった。</p> <p>○バスロケーションシステム等路線バスを利用しやすくするための設備の導入等、市民だけでなく観光客等の来訪者にも利用しやすい公共交通について研究する。</p>					実施																								
					今後の方向性																								
					継続実施																								

基本目標3 生活を支える公共交通手段を「つくる」

施策	1	「おでかけ」を守るための検討			
事業	①	飯能市地域公共交通対策協議会の運営			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
市	H30	R01	R02	R03	R04
	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
<p>○以下のとおり、飯能市地域公共交通対策協議会を開催した。(3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月25日(第11回) 議事：令和元年度実績報告及び令和2年度事業計画について 公共交通空白地有償運送の区域変更について 各地区における「暮らしやすい地域の移動・交通」の現状と検討事項について ほか 10月6日(第12回) 議事：精明地区及び加治地区の新しい移動手段(案)について 公共交通空白地有償運送の更新登録について 南高麗地区の社会資源を活用した移送事業の開始について ほか 12月25日(第13回) 議事：精明地区及び加治地区の新しい移動手段の実証運行(案)について <p>○以下のとおり、市内バス事業者による飯能市地域公共交通対策協議会分科会を開催した。(3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月8日(第9回) 議事：令和元年度実績報告及び令和2年度事業計画について ほか 8月27日(第10回) 議事：精明地区及び加治地区の新しい移動手段(案)について ほか 12月1日(第11回) 議事：精明地区及び加治地区の新しい移動手段(案)について ほか 					
今後の課題					実績
○今後も必要に応じて協議会及び分科会を開催し、重要事項について審議する。					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	1	「おでかけ」を守るための検討			
事業	②	地域での交通手段を導入するための仕組みづくり			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
市、地域	H30	R01	R02	R03	R04
	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
<p>○高齢者安全技能講習会の開催 地域のボランティアドライバー等に対し、運転技能講習会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時 令和2年12月16日(水) 9:30-12:00 内容 学科知識の確認、技能診断、講話 など 参加者 10名 <p>○飯能市公共交通空白地有償運送支援事業補助金 令和2年度 交付実績なし</p>					
今後の課題					実績
○飯能市公共交通空白地有償運送支援事業補助金について、各地区の移動手段の現状に応じて、実施団体に必要な支援ができるよう内容の見直しを行う。					実施
○地域で移送サービスを実施する団体のドライバーを対象に運転者講習会を開催し、安全な運行ができるよう支援を行う。					今後の方向性
○市内の公共交通の不十分な地域における移動手段の導入について、地域住民のもとに出向き、住民が求めている運行内容について意見交換を行う。					継続実施
○「地域主体による交通手段の導入・確保の手引き」(令和元年5月策定)について、法令改正等に対応しながらよりわかりやすくなるよう必要に応じて内容を見直す。					

施策	1	「おでかけ」を守るための検討			
事業	③	地域による主体的な運営組織づくり			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
	H30	R01	R02	R03	R04
地域、市	◎実施	◎実施	◎実施	○継続実施	
R02実績					
<p>○以下のとおり、各地区の末端交通手段の担い手である団体の運営組織づくりを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南高麗地区における移動手段を確保するための運営組織づくり ・飯能リハビリ館（医療法人徳明会）による移送サービスの実証運行開始に向けて以下のとおり協議を行った。（3回：5月22日、7月17日、9月15日） <p>○参考</p> <p>NPO法人奥武蔵グリーンリゾートにより、公共交通空白地有償運送「奥武蔵らくらく交通」を運行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区域変更 日高市内の医療施設（3施設）への移動がかなうよう区域変更をした。（6/25 第11回協議会承認） ・更新登録 運行開始から2年経過により埼玉県に更新登録をした。（10/6 第12回協議会承認） ・運行実績（前年比） 運行回数：622回（+150回） 輸送人員：897人（+317人） 走行距離：4578.6km（+763.8km） 登録者数：150名（男50名、女100名） 					
今後の課題					実績
<p>○依然として市内には公共交通が不十分である地域が存在し、末端交通手段の導入が課題となっている。各地区において、交通手段の確保を実現するため、担い手となる地域住民、団体等と検討する場を設ける必要がある。</p> <p>○「奥武蔵らくらく交通」について、市において関係者との調整により、運行範囲の拡大（日高市内の医療施設3か所）のための支援を実施した。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	2	社会資源の活用の検討																					
事業	①	スクールバスの混乗																					
実施主体	実施期間（H30～R04）																						
	H30	R01	R02	R03	R04																		
市、交通事業者	◎実施（実証実験）	◎実施（本格運行）	○未実施（運休）	○継続実施																			
R02実績																							
<p>奥武蔵小学校スクールバス一般住民の混乗制度を以下のとおり実施した。</p> <p>○令和2年度 実績 運行実績なし ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月5日～当面の間運休している。</p> <p>コース別利用者数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>北川</td> <td>奥小</td> <td>東吾野</td> <td>南川</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>朝</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夕</td> <td></td> <td colspan="2">運休中</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							北川	奥小	東吾野	南川	計	朝						夕		運休中			
	北川	奥小	東吾野	南川	計																		
朝																							
夕		運休中																					
今後の課題					実績																		
<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年3月5日から当面の間運休としている。</p> <p>○教育委員会（小学校）と地域住民の意向を踏まえて、事業内容の見直しについて検討する必要がある。</p>					未実施																		
					今後の方向性																		
					継続実施																		

施策	2	社会資源の活用検討				
事業	②	送迎バスの活用検討				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
市、地域	H30	R01	R02	R03	R04	
	○研究・検討	○研究・検討	◎実施	○継続実施		
R02実績						
<p>○「飯能リハビリ館の送迎車の空席を活用した移送事業」の実証運行の開始</p> <p>医療法人徳明会と市が協定を締結し、同法人が運営する介護老人保健施設「飯能リハビリ館」が運行する送迎車両を地区住民も利用可能とすることで、路線バスの空白時間帯における地区住民のおでかけの足の確保することを目的として開始した。</p>						
概要		実績 (R2.11.20~R3.3.26)				
<ul style="list-style-type: none"> 運行開始日 令和2年11月20日 運行日 毎週金曜日 運行回数 2往復/1日 定員 7人 (10人乗りワゴン) 運行ルート 間野黒指バス停~小室クリニック 協力 国際興業(株) 		<ul style="list-style-type: none"> 登録者数 41名 (3/31現在) 運行日数 17日 (※3/12は運休) 利用者数 延べ68名 (1日平均 4名) 				
						
<p>○「飯能市乗合ワゴン」の実証運行の開始</p> <p>精明地区及び加治地区における公共交通空白地の解消のため、令和3年3月10日から「飯能市乗合ワゴン」の実証運行を開始した。また、それに伴い、総合福祉センター送迎バスの運行については、令和3年3月31日をもって廃止した。</p>						
導入準備		概要		実績 (R3.3.10~R3.3.31)		
<ul style="list-style-type: none"> 各地区検討会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 精明地区 3回 (8/18、10/12、11/9) 加治地区 3回 (8/17、10/14、11/10) 加治東地区3回 (8/21、10/16、11/11) 試乗会の開催 (精明9/28~29、加治9/30~10/1) 意見募集期間 (9/7~10/7) おでかけ通信の発行 (各地区3回) 		<ul style="list-style-type: none"> 運行開始日 令和3年3月10日 運行日 毎週月・水・金 運行便数 8便/1日 運行系統 <ul style="list-style-type: none"> 精明東コース (2便/日) 精明西コース (2便/日) 加治コース (4便/日) 定員 9人 (10人乗りワゴン) 運行事業者 西武ハイヤー(株) ※21条許可運行 		<ul style="list-style-type: none"> 運行日数 10日 利用者数 328人 (便平均4.1) <ul style="list-style-type: none"> 精明東 126人 (便平均6.3) 精明西 66人 (便平均3.3) 加治 136人 (便平均3.4) 		
						
						
今後の課題					実績	
○飯能リハビリ館の移送サービスについては、令和3年6月を目安に検証を行い、地域住民の意見を参考にしながら運行内容等の見直しを行った後、本格運行に切り替える。					実施	
○飯能市乗合ワゴンについては、令和3年9月を目安に検証を行い、運行内容等について見直し、令和4年1月の本格運行（道路運送法4条許可による運行）開始を目指す。また、あわせて持続可能な移動手段になるよう利用促進を図るとともに、国庫補助金の申請準備を行う。						
○社会福祉法人等が所有する送迎車両を活用した地域の移動手段となるサービスの導入について、引き続き法人等と調整、検討する。					今後の方向性	
					継続実施	